



# 学校だより

下小岩小学校 学校ホームページURL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310306>

12月号 令和6年11月29日発行

江戸川区立下小岩小学校

校長 鶴田 麗子

## 自らチャレンジ!笑顔輝く!

校長 鶴田 麗子

朝夕は、めっきり寒さも増し冬の到来を感じられるようになりました。

「かがやきフェス」には、多くの保護者・地域の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。事後のアンケートでは、子ども達の頑張りへの賞賛、成長への喜びの声が多数寄せられました。指導した教員への感謝や労いのお言葉もいただき、教職員も大変励みになりました。来年は、新校舎での実施になります。輝く子ども達の姿を、より多くの方々にご参観いただけるよう、開催方法も工夫していきます。

さて11月は「ふれあい月間」でした。東京都では6月と11月の年2回を、いじめのない学校を目指し、人権意識を高めていく機会として設定しています。そんなある日の給食の時間に放送が入りました。

『こんにちは。代表委員会です。代表委員会から皆さんにお知らせがあります。突然ですが皆さんは“いじめ”を知っていますか?“いじめ”というのは、冷やかしたり、からかったり、暴力をふるったりすること、つまり相手が嫌がることをするということです。いじめていないつもりでも、いじていることもあります。そんなことをする人はさすがにいないですよ。やっているとしてもありえませんか。私たちはいじめについて知ってもらうために、いじめに関するポスターを作りました。校内に貼るのでぜひ見てください。相手と自分の気持が分かり合えば、いじめはなくなると思います。相手が「嫌だ」と言ったら、やめてあげましょう。でも「嫌だ」といえる勇気をもつことも大切です。この下小岩小学校から“いじめ”をなくしましょう!!これで終わります。』内容もさることながら説得力ある語り口に、食事の手を止め聴き入ってしまいました。



「ふれあい月間」では、全校朝会での校長講話、全校児童対象のいじめアンケート、道徳の時間にいじめについて考える授業、教職員の研修などの取組を行っています。しかし残念ながら、受け身でいるうちは子ども達の意識の高まりを期待できないことも確かです。今回は子ども達がいじめを自分事ととらえ、全校児童に発信をしてくれました。代表委員会の想いがより多くの子ども達の心に届き、学校がさらに安全・安心な居場所になることを期待します。自らチャレンジする下小岩の子に、頼もしさと誇らしさを感じたひと時でした。



ちなみに運動委員会では健康維持を目標にラジオ体操の動画を作成しました。月曜日の朝、全校でのチャレンジがスタートしました。もうすぐ新しい年を迎えます。一人一人があらためて目標をもち、様々なことに自らチャレンジしていける年になることを願っています。